

## 薄原区 当日 Q&A

Q：静鉄ジャストラインで企画されている「大御所パス」は自主運行バスで使用できない。静鉄バスと自主運行バスで併用できるようにならないか。御前崎地区から病院まで行けば、福祉タクシー券では足りない。「大御所パス」が使えれば福祉タクシー券は要らなくなる。

A：自主運行バスは、市独自でやっているもの。併用はできない。自主運行バスは、さらに研究していく。

Q：防災訓練は市防災課からの提案で自主防災会が訓練を行う。区独自で訓練内容を考えるのも限界がある。小学校区単位で合同防災訓練を開けば考えが広がる。情報共有の場がほしい。

A：貴重な意見。隣保班単位での自主防災を組織するのも大事。今後市でもマニュアルを作っていく。

Q：原発のモニタリングステーションなどの保守点検はどの程度やっているのか、市で排気塔の監視をしているのか。

A：中部電力が全てやっている。また、原子力安全・保安院がその監視をしている。市は、日々のデータを確認できるとともに定例の市議会原子力対策特別委員会で説明をしいる。県では、静岡県環境安全協議会（環安協）、国では全国原子力発電所所在市町村協議会（全原協）を開いて情報を共有している。

Q：原子力関係のお金は、原子力災害から市民を守るために使用してほしい。

A：市民の安心・安全のために最善を尽くしていく。

Q：御前崎市で新型インフルエンザの予防接種はいつからか。

A：現在、ワクチンが用意できれば、市が負担してでも市民全員が予防接種を受けてもらいたいが、市民全員分のワクチンがなく、予定がたたない。

Q：敬老会でもらえるお祝いの商品券は、どこの店舗でも使えるものとしてほしい。

A：確認する。

Q：御前崎地区の下水道工事の進捗状況はどうか。

A：現在、事業計画を作成している。終了したら、近く説明会を開く。その後、処理場を決めて工事に入る。

Q：御前崎地区には断層が8つある。断層の箇所と今回の地震の被害にあった場所は一致している。市民に広報し、知らせれば防災意識の高揚につながる。

A：市でも研究する。地区でも記録を残しておいてほしい。

Q：行政改革推進委員会のメンバー12人は誰がどういう基準で決めているのか。市に一切関係ない人もメンバーに入れるべき。

A：幅広い分野の中から選考している。行政改革に一切甘えはない。